

【動物理学療法の歴史】

○ 世界の動物理学療法に関する団体の歴史

		動物理学療法団体の 設立年	国の理学療法士協会に 公式に承認された年
1980年代	イギリス	1984	1987
	オランダ	1989	1992
1990年代	カナダ	1994	2004
	スウェーデン	1995	1996
	フィンランド	1997	1997
	南アフリカ	1997	1997
	オーストラリア	1998	2004
	スイス	1998	1998
	アメリカ	1998	1998
2000年代	スペイン	2002	不明
	ベルギー	2006	国の理学療法士協会がない
	アイルランド	2006	不明

出典: International Trends in the Practice of Animal Physiotherapy & Rehabilitation,
Laurie Edge-Hughes, BScPT, MAnimSt (Animal Physiotherapy), CAFCI, CCRT
 Presented as an oral abstract at the 2008 Congress of the Canadian Physiotherapy
 Association, Ottawa, Ontario.

○ 日本の動物理学療法に関する歴史

1975年	中央競馬総合研究所常磐支所に日本初の競走馬のプールが設置
1995年	犬や猫を中心とした伴侶動物（ペット）に対する理学療法が徐々に始まる
1999年	第13回世界理学療法連盟学会（WCPT 学会、横浜会場）で教育講演開催 “Physical Therapy for Animals”（講師：David Levine 教授）
2007年	日本動物リハビリテーション集会開催（日獣医師と動物看護教育の有志ら が発起人、東京大学農学部講堂）、その場で日本動物リハビリテーション研 究会発足（2010年 日本動物リハビリテーション学会へ組織変更）
2010年	日本動物理学療法研究会設立（顧問：奈良勲元日本理学療法士協会会長）
2015年	第50回日本理学療法学会で「動物に対する理学療法」と題するシンポ ジウム開催（座長：信岡尚子氏）

2015 年	日本理学療法士学会に「動物に対する理学療法部門」新設
2021 年	日本理学療法士学会の再編に伴い「動物に対する理学療法部会」に移管（職能推進課）